

いっしょに飯南



飯南町広報

平成17年4月20日 No.4



4月号

小学校閉校(赤名小・小田小・来島小・谷小)／赤名小・来島小開校式

第3回議会定例会

町長所信表明

平成17年度町予算／お知らせ掲示板 など



谷小学校



山崎町長に歴史ある谷小学校の校札が返還されました

百三十年の歴史に幕を

4つの小学校が閉校（赤名小・谷小・来島小・小田小） 三月二十日（日）



小田小学校

写真には在りし日の小田小が…



町の小学校再編計画に伴い、旧赤来町内にある四つの小学校を二校に統合することとなり、三月二十日に各小学校で閉校式を行いました。これにより、各小学校が築き上げた百三十年の歴史に幕を閉じました。

各小学校には、児童や卒業生、教職員、関係者など多くの方が参加しました。各小学校には懐かしい写真の展示等があり、出席者は写真を見ながら旧友と様々な思い出を語り合っていました。各小学校の式典では、山崎町長が式辞を述べ、学校ごとに様々な功績を残されてきたことを紹介しました。また、各校長は今まで各小学校が歩んできた歴史を振り返り、児童による感謝の思いも述べられました。

統合して校舎が使われなくなる小田小学校と谷小学校では、児童による小学校に対する思いの発表が、合唱等を交えて行

新たな歴史の扉が開かれました

赤名小学校・来島小学校開校

4月8日、赤名小学校及び来島小学校において両校の開校式を行い、新たな歴史の第一歩を踏み出しました。



赤名 小学校



旧赤名小学校と旧谷小学校が統合して誕生した新生赤名小学校開校式では、初めに対面式が行われました。旧両校の児童がお互いに顔を向け合わせて挨拶し、お互いが協力し合って、仲良く学校生活を送ることを誓い合いました。

続いて開校式を行い、難波喬教育委員長の式辞と鉄原誠校長の挨拶の後全員で校歌を斉唱し、新たな赤名小学校がスタートしました。



■鉄原誠校長先生のあいさつ

それぞれの学校でも長い歴史の上に立った、1年目の赤名小学校のスタートです。児童の皆さんは今まで以上に友達と仲良くなって、それぞれの小学校で自慢だったことを互いに出し合い、色々な1年に挑戦する年にしてください。私たち先生も新しい気持ちで皆さんと一緒に、この新しい赤名小学校を元気でスタートさせたいと思っています。みんなと一緒にがんばりましょう。



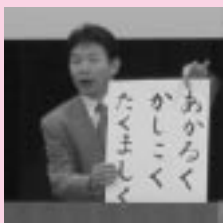
来島 小学校



旧小田小学校と旧来島小学校が統合して誕生した新生来島小学校の開校式では、中稔教育長の式辞と下前克己校長の挨拶の後、児童の手によってくす玉が割られました。くす玉の中の垂れ幕には「統合おめでとう。みんな力をあわせてがんばろう」と書かれており、児童にとって、新しい友達と新しい学校生活を送るための合言葉となりました。

その後、全員で校歌を斉唱し、来島小学校の新しい歴史が始まりました。

■下前克己校長先生のあいさつ



学校統合という記念すべき年。まずは1年をかけて「こんな事をしたい。こんな学校をつくっていききたい」という思い出を、皆さんで作っていきましょう。そして、つながりを持ち、ひとつになって、来島の地を愛し誇りを持つ。また、明るく賢く逞しい子供になる。これを新しい来島小学校の目標として、楽しい学校生活にしていきたいと思います。



児童全員で学校への感謝の気持ちを発表



校舎内にはこれまでの卒業生写真が飾られていました



長い歴史を刻んだ校旗を収納しました【赤名小】



写真や作文等を詰め込んだタイムカプセルを埋設しました。20年後に掘り出します【来島小】

われ、会場では児童の思いに思わず涙ぐみ姿も見られました。式典の最後には、赤名小学校と来島小学校で校旗返還、小田小学校と谷小学校で校札の返還を行い、出席者全員で校歌を斉唱しました。

四校がこれまで築いてきた歴史を、新たに誕生した小学校に受け継ぎ、さらに素晴らしい小学校の歴史が築かれることが期待されます。

人・産業・地域の自立に向けて

三月十日から開かれた第三回飯南町議会定例会で、冒頭に山崎町長は次のとおり所信表明しました。

(要旨)



私は、このたび、町民の皆様の温かいご支援を賜り、町政を担当させていただくこととなりました。就任以来一ヶ月が経過しましたが、折に触れ、住民の皆様の新町に対するご期待をひしひしと感じており、改めてその責任の重大さ

を思い、元気で優しい町づくりに全力を尽くす決意を新たにしています。

「小さな田舎からの生命地域宣言」を基本理念に「飯南町」が誕生し、六千三百人町民が大きな夢をかけた「ふるさとづくり」がスタートしました。

我々は、このかけがえのないふるさとを持続的に発展させ、真に住み良い町として築き上げる必要があります。

そのためには、外部へ依存することなく、町民自らの意思、自らの手によって町を運営できる体力体制づくりが必要であり、色々な面で「自立」していかなくてはなりません。それは、行政は勿論のこと、町民の皆さん、企業、各種の団体などそれぞれの主体が、自己決定、自己責任の考え方に基いて、その自らの役割を果たすことが大切です。また、農林商工業、全産業の活発な活動も必要不可欠です。

町長懇話室・移動町長室を開設

住民の皆さんと町長が対話する機会として、赤名庁舎で「町長懇話室」、頼原庁舎、志々支所及び来島支所で「移動町長室」を開設します。

開設日及び開設時間

◇開設回数 庁舎・支所ごとに毎月一回

◇基本開設日

- ・五日(赤名庁舎) ・十五日(頼原庁舎)
- ・二十日(志々支所) ・二十五日(来島支所)

※基本開設日が土・日・祝日の場合には、翌日又は翌々日に変更

◇開設時間 十四時～十六時

※開設日・開設時間は、都合により変更する場合があります。

※日程等は事前に文字放送及び町ホームページでお知らせします。

対象者

原則として町内に在住・在勤又は在学する方

町長との対話方法

一回の対話時間は三十分程度とします。

※対話を希望する方は、事前にご連絡ください。

※希望者が多い場合には、翌月をお願いする場合があります。

その他

資料等による説明が必要な場合は、対話希望申し込み時にお伝えください。

本町の「人・産業・地域」の自立に向け、町民の皆様と一丸となつて取り組んでいきたいと考えます。

それは、一つには「豊かな自然を活かし、農林商工業が複合した、生命産業・健康産業づくり」です。現在、町内において色々頑張つておられる企業、農業法人、団体、グループなどがあり、これらの一層の振興は勿論ですが、本町の多様性に富んだ自然を資源として、色々な産物などのモノづくり、農林業体験を始めとする交流事業などを、農林商工業、異業種が連携し一体となった、本町ならではの「命・健康」を視点・鍵とした産業を振興していきたいと考えます。

二つには「高齢者や子供をはじめ、町民みんなが安心して暮らせるまちづくり」です。皆が健康で安心して暮らしていくためには、保健・医療・福祉にかかわる全ての人・施設が連携し、総合的に推進できる体制づくりが大切です。本町にふさわしい体制づくりに向けて課題を整理し、あるべき方向を定めていく考えです。

また、将来を担う子どもたちを地域全体で見守り、子育てしやすい環境整備に努力したいと考えます。

三つには「行動する人づくり

と住民総参加による、住民と行政の協働のまちづくり」です。私は、就任にあたり職員に対し、町民の皆様より信頼を得られる役場づくりに努めるよう話しました。町民の皆様には、町民皆がまちづくりの一員であるとの意識にたつて、自分のできる範囲でまちづくりに参加し、行動をしていただくことをお願いいたします。

そして、財政を安定軌道に回復させることは、自立に向けての喫緊の課題であり、行政改革に取り組むなど、合併効果を最大限に発揮したいと思います。また、合併により人材や地域資源など、まちづくりの要素が大きく広がり、厚みを増したことを活かして、新たな挑戦もしなければならぬと考えます。

私は、これまでの経験を生かして、本町の一体感の醸成に努め、自立に向けての体力固めを行い「いのち彩る里 飯南町」元気で優いまちづくりに、全力で取り組みます。

町民の皆様には、今後ともご指導、ご協力を心よりお願い申し上げます。

所信表明の全文は、三月中に自治区・自治会へ配付していますので、そちらをご覧ください。なお、町ホームページでもご覧いただけます。

まちづくり出前講座

まちづくり出前講座は、町民の皆さんの要望に応じ、町職員等が出向き、事業等の説明等を行うものです。

対象者

町内在住者又は町内の事業所・学校等に通勤若しくは通学する方で、原則十人以上の参加者が見込まれる団体等。

開催時間・会場

午前九時から午後九時までのうち二時間以内で、会場は町内に限ります。

出前講座に係る施設の使用及び運営については、申込者の責任で行っていただきます。

受講申込方法

開催日の十四日前までに、申込書をメールで送付いただくか、総合調整課に提出して下さい。

町ホームページの充実

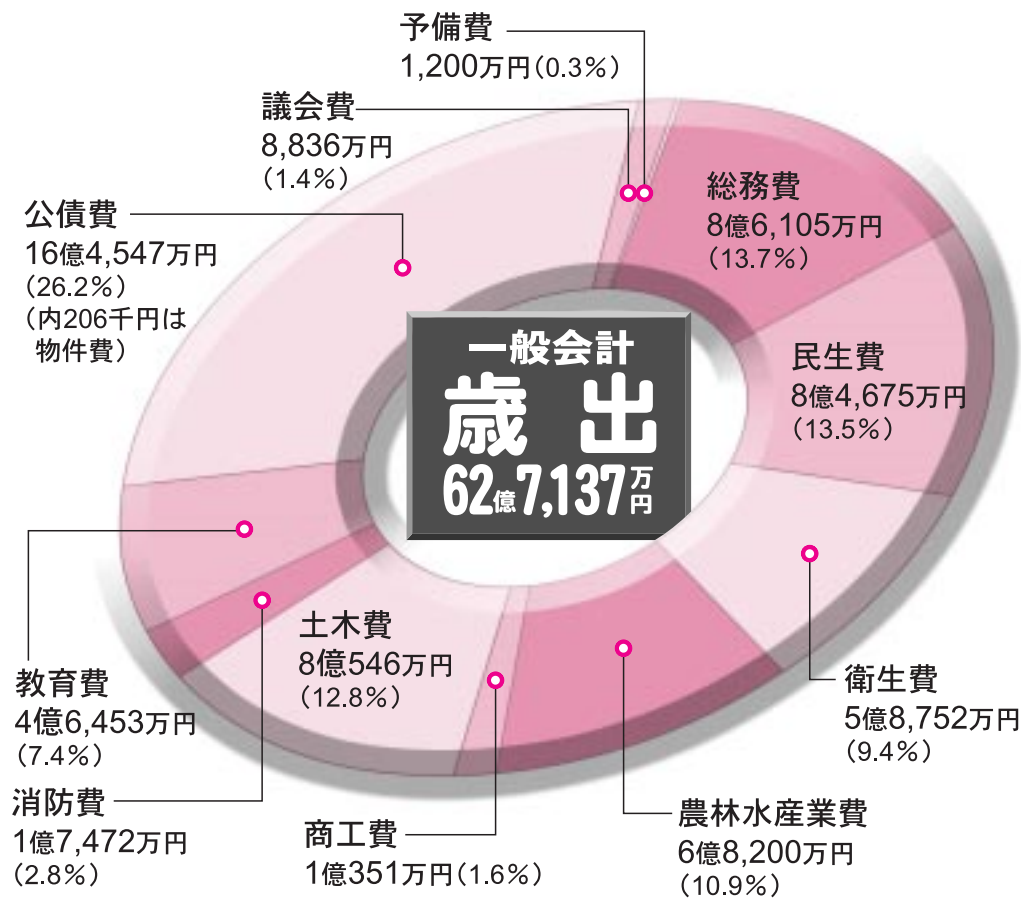
「町長メール便」開始 四月一日〜

皆さんから送信いただいたご意見、ご提案など、回答が必要なものに関しては、可能な限りその週又は翌週中に回答いたします。

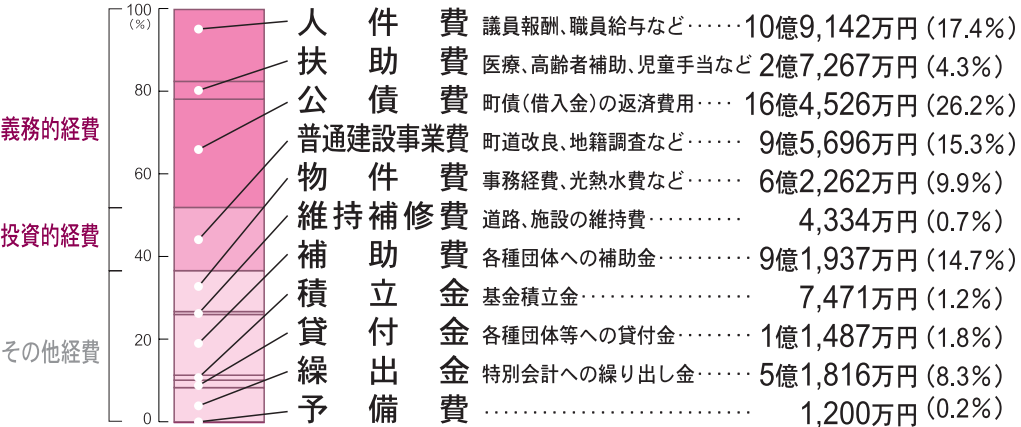
町長公務日程を公開 四月一日〜

町長の週ごとの公務日程を公開しています。更新は、毎週金曜日十七時に更新します。

,086万円



義務的経費と投資的経費の割合



歳出

歳出の中では、公債費(借入金の返済)が約4分の1を占め、この公債費を減少させることが財政上の最大課題となっています。合併した効果は、特別職の減、職員退職などにより人件費の減(△7.2%)、事務的経費の削減などに表れています。今後は、行政改革を行い、財政の中期計画を策定しながら安定した財政運営の確立を図ります。

歳出の主な使いみち

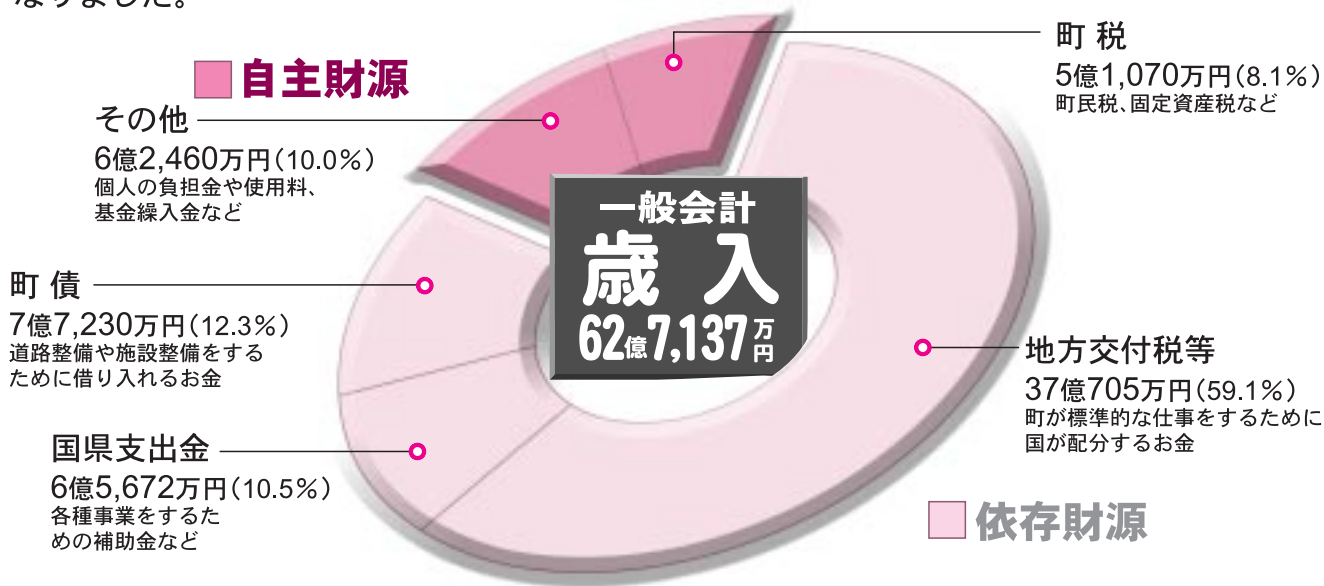
- 総務費
行政改革の推進……8万円
飯南町発足記念事業の実施……426万円
出前講座等広聴事業の充実……16万円
まちづくりの指針となる「総合振興計画」の策定(組織づくり経費)……50万円
都市と農村の交流促進を行うため「酒づくり交流館」を整備……1,970万円
姉妹都市交流や出身者会との交流を継続……450万円
景観対策事業やフラワーイベントの実施……3,563万円
新しい自治のあり方を検討……906万円
新たなバス運行形態を検討……30万円
- 民生費
社会福祉の充実……5,200万円
要援護老人の入所措置など……7,174万円
身体障害者保護費や訓練費など……5,067万円
延長保育の実施など保育サービスの充実……1億8,499万円
- 衛生費
健康なまちを目指すための地域保健推進事業……389万円
インフルエンザなど感染症の予防……902万円
健康診査や健康相談など疾病の予防……3,485万円
- 農林水産業費
堆肥散布による循環型農業の確立……593万円
新たな集落協定による中山間直接支払事業……1億3,689万円
公社畜産基地の整備……6,487万円
中山間総合整備事業による農道や防火水槽の整備……3,415万円
角井地区の圃場整備……600万円
国土調査の未調査地区を継続して調査……1億2,641万円
森林整備のための新たな交付金……3,467万円
町有林や町行造林・公社造林事業の実施……6,951万円
- 商工費
商工会への経営補助……1,765万円
商工業協同組合への貸付事業2,000万円
町外でのPRイベント参加など355万円
- 土木費
新市赤名線の改良工事……2億25万円
塚原和田線の改良工事……1億5万円
灰屋線の橋梁下部工事……5,160万円
花栗張戸線の改良工事……1億7,015万円
- 消防費
島根県消防操法大会への参加552万円
飯南町地域防災計画を策定……284万円
- 教育費
中高一貫教育の推進など飯南高校への支援……906万円
英語指導助手2名の配置……907万円
小学校教育の充実……8,816万円
中学校教育の充実……6,566万円
公民館事業の充実……2,233万円
埋蔵文化財の発掘調査事業……458万円
共同調理場の整備と学校給食の一元化……7,600万円
- 国民健康保険特別会計
医療費の保険者としての負担実施……2億1,973万円
- 老人保健特別会計
医療費の負担を実施……10億659万円
- 簡易水道特別会計
頓原・志津見の水道整備を実施……1億50万円
- 公共下水道特別会計
町内全域の整備を実施……4億6,050万円
- 飯南病院会計
入院・外来など医療の充実……11億6,337万円

10会計で99億6

飯南町として、初めての年間予算が決まりました。この当初予算は、町長が決まって間もないことから骨格予算となりますが、町民の皆さんに直結した経費や継続事業の経費、及び年間の義務的経費などを中心に編成しています。政策的経費や新規事業などは、6月以降の補正予算で対応します。

一般会計 62億7,137万円

予算規模は、62億7,137万円で、旧両町の昨年度の当初予算と比較して、20.5%の減額予算となりました。



歳入

歳入のうち、町税や使用料など自前で調達できる財源(自主財源)は、18.1%と少なく、歳入のほとんどを地方交付税、国県支出金など(依存財源)に頼っています。しかし、歳入の55.6%を占める地方交付税は、三位一体の改革などにより減額されたままであり、このため、基金を取り崩すこととしています。

特別会計 8 特別会計 総額25億2,612万円

8つの特別会計の総額は、25億2,612万円で、引き続き公共下水道事業や簡易水道の整備などを行います。

特別会計名	予算額	主な内容
国民健康保険事業	4億7,142万円	保険者としての医療費負担
老人保健事業	10億927万円	老人医療費の負担
介護保険サービス事業	1,762万円	訪問看護事業
簡易水道事業	3億2,912万円	頓原・志津見の水道整備
合併処理浄化槽事業	5,053万円	新規設置20基
農業集落排水事業	2,302万円	廃水施設の維持管理
公共下水道事業	6億2,300万円	引き続き町内の整備を実施
住宅新築資金貸付事業	214万円	公債費の償還

病院事業会計 11億6,337万円 入院・外来など医療の充実



町内の主な施設

No.1

赤名・谷・
来島地区

していますが、町民
ない」という意見を
回に分けて本町の施

頓原・志々地区

6



来島基幹集落センター

(来島支所・来島公民館)

支所としてのサービス提供、公民館
としての地域活動の場として、地域
の方に活用されています。

7



来島保健センター

特別養護老人ホームあかぎの里
飯南町社会福祉協議会
来島診療所

デイサービスや短期入所、介護部門
など高齢者の生活支援施設に診療所
を併設して、保健と医療福祉が一体
となった施策を進めています。

8



赤名農林会館

様々な研修や、料理実習の場として
活用されています。

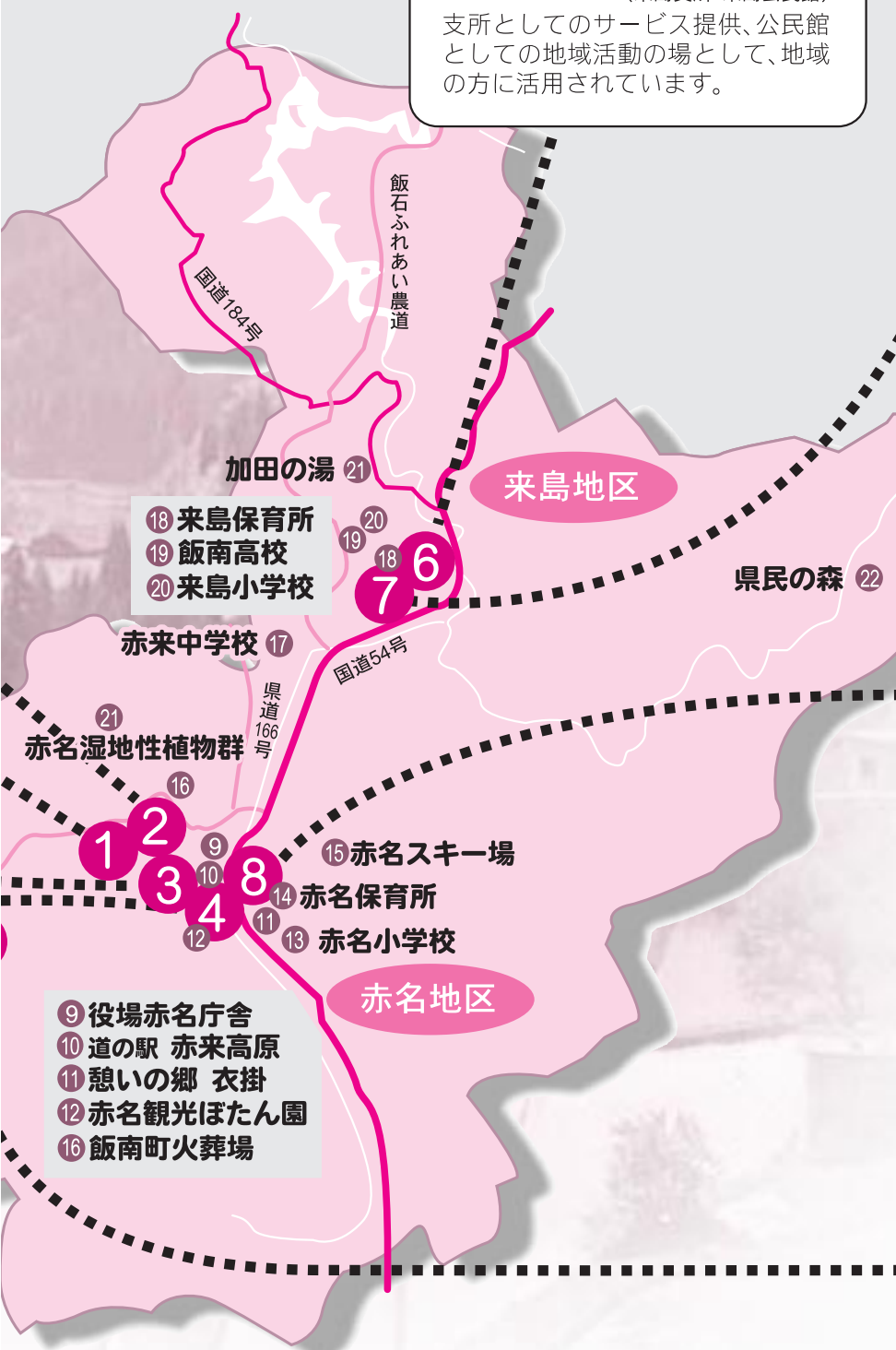
5



谷高齢者コミュニティセンター

(谷公民館)

公民館活動など、地域の方の交流の
場として活用されています。
センター横には谷出張診療所があ
ります。



飯南町生活ガイド

1



赤名山村広場

野球場とテニスコートがあり、野球場ではグラウンドゴルフの大会等も行われます。野球場横にはりんご園・ブルーベリー園があり、夏から秋にかけて多くの方が訪れます。

飯南町が誕生して、もうすぐ4ヶ月になるうとの皆さんから「施設がどこにあるのか分からたくさんいただきました。そこで、今月から2設を紹介します。

2



飯南町農産物加工施設

道の駅で販売するパン等の商品作りに使用されるほか、料理教室等も開催されます。一般の方の利用も可能です。

3



赤名農村環境改善センター

(赤名公民館)

本町で開催する式典等の催し物をする会場です。赤名公民館の拠点としての役割もあります。センター横には、CATV飯南局の施設があります。



CATV飯南局

4



赤名町民グラウンド

公民館の盆踊り大会やグラウンドゴルフ大会などに利用されます。

谷地区

5

県道55号

今年6月の完成を目指して



志津見大橋閉合式

平成十五年より、志津見ダム関係事業の一環として進められてきた「志津見大橋」の上部工事がほぼ終了し、三月二十二日に同大橋近くの明剣神社で閉合式を行いました。

同神社には、山碕町長をはじめ関係者が参列し、橋の安全祈願を行いました。また、同大橋の上では最後のコンクリートを投入し、閉合を完了しました。



橋の上で最後のコンクリートを投入

県道川本波多線に新しく架かるこの橋は、志津見地域をまたぐように架かっており、地域の方から早期完成を待ち望まれています。橋が完成することにより、地域の方が今以上に一体感を持つことができ、地域の活性化につながることを期待されます。

今後は橋の舗装工事等を実施し、六月の全線供用開始を目指して工事を進めます。この橋が完成すると、ダム周辺主要道路の整備はほぼ終わる（？）といえます。

イベント情報

ぼたんまつり2005 in 飯南

■日時 5月7日(土)・8日(日) 10:00~16:00

■会場 赤名観光ぼたん園周辺

地元グループテント市その他、イベント盛りだくさんの2日間です！

■お問い合わせ先 産業振興課 ☎72-0313

小豆原埋没林公園2周年記念イベント

■期間 5月3日(火)~5日(木)

期間中、有料入園者の方に3500年前の埋没杉木片を特別プレゼント！地元物産の販売もあります。

4日(水)には地元多根神楽の公演があります。

■お問い合わせ先

三瓶小豆原埋没林公園 ☎0854-86-9550(担当:後藤)

人権擁護委員を紹介します

人権擁護委員の職務とは

人権擁護委員の主な仕事は、私達の人権が侵されないように監視し、もし人権を侵された人がいた場合には、相談相手になって救済したり、人々の間に正しい人権の考え方を広めたりすることです。

本町には、次の方が人権擁護委員として法務大臣から委嘱されています。

■本町の人権擁護委員

熊谷聡明さん(頓原)
永田禎一さん(八神)
吉川玲嗣さん(下赤色)
山下富弘さん(野萱)

助役に藤原 弘氏が就任



藤原 弘氏 職歴

- 昭和47年 4月 島根県職員採用
- 平成13年 4月 教育委員会文化財課 課長補佐
- 平成15年 4月 総務部総務課 課長補佐
- 平成16年 4月 環境生活部環境政策課 主査

私は、このたび町からの要請により、三年の県職員生活を離れ、助役に就任することになりましたが、新たな職務に向かい身心も引き締まる思いです。これまでの経験と人とのつながりを生かし、県とのパイプ役になるとともに、町民の皆様や議会の皆様のご理解を得ながら、町長の補佐役として、役場の職員方々とともに飯南町の発展に尽くしたいと

考えております。私事ですが、出身は奥出雲町(旧仁多町)の下阿井地区であり、同じような中山間地域である飯南町は、故郷に帰ったような気持ちになる自然環境であり、うれしく思っております。皆様方には、今後いろいろ御迷惑をかけることもあるかと思いますが、公私ともによろしくお願いします。

四月一日付で、藤原弘氏が助役に選任されました。県での豊富な行政経験を活かし、町長の補佐役として本町での活躍が期待されます。

新規採用職員の紹介

4月1日付で、次の5人を新規職員として採用しました。



来島保育所 保育士
朝津 直哉(赤名)
分からないところだらけですが、早く慣れるように一生懸命頑張りたいと思います。



桜ヶ台保育所 保育士
畑 雅子(頓原)
三月に短大を卒業し、飯南町へ帰ってきました。よろしく願います。



赤名保育所 保育士
小林 祐子(頓原)
毎日元気をいっぱいもらいながら、笑顔忘れず、楽しくやっていきたいと思っています。



飯南病院 看護師
貝森 静香(上來島)
地域の皆様のお役に立てるよう、笑顔と思いやりのある看護を心掛けます。よろしく願います。



保健福祉課保健師
川神 典子(頓原)
四月から保健福祉課で保健師として勤務することになりました。どうぞよろしくお願い致します。

退職者

三月三十一日付で、次の方が退職されました。

保健福祉課 保健師長 森山 恵津子
赤名保育所 所長 日高 加寿美
桜ヶ台保育所 所長 山下 和子
小田保育所 主任保育士 橋本 京子
赤名保育所 主任保育士 原 佐知子
小田保育所 主任保育士 永井 順子
来島保育所 主任調理師 宇治田 節子

職員異動(4月1日付)()は旧任

吉岡 達雄 住民課主査(事務組合派遣)(教育次長)
景山 泰行 教育次長
藤原 幸子 総務課主査(総務課課長補佐)
吾郷 須摩子 桜ヶ台保育所所長(さつき保育所所長)
井上 幸枝 赤名保育所所長(来島保育所主任保育士)
安部 加名子 さつき保育所所長(来島保育所主任保育士)
小野 充子 来島保育所所長(来島保育所主任保育士)
安部 農 保健福祉課主任主事(議会事務局主任主事)
安田 健一 上下水道課主事(赤名地域支援室主事)
景山 貴文 赤名地域支援室主事(広域連合派遣)(総務課主事)
三上 大輔 総務課主事(上下水道課主事)
難波 敦子 来島保育所主任保育士(赤名保育所主任保育士)
花田 里加 赤名保育所保育士(さつき保育所保育士)
佐々木 克己 頓原小主任校務技術員(志々小主任校務技術員)
岸野 富夫 志々小主任校務技術員(来島小主任校務技術員)
岡田 朗 来島小主任校務技術員(頓原小主任校務技術員)

文化財探訪

②

教育委員会

ダム建設に伴い志津見・八神周辺ではたくさん縄文時代の遺跡が発掘されています。今月は飯南町の指定文化財となっている五明田遺跡出土の土器について紹介します。

五明田遺跡土器

飯南町八神

五明田遺跡は飯南町八神、国道一八四号から舟津橋を渡った山手の水田に広がる遺跡で、昭和六十三年と平成二年に遺跡の発掘調査が行われ、およそ四千年前の土器が大量に出土しました。その量は、六十センチ×四十センチ×深さ二十センチのコンテナに収納して、およそ百箱にも及びました。

このうち特に精巧に作られていた磨消縄文土器と呼ばれる土器の一群は、平成八年に一括して、当時の頓原町指定文化財として登録されています。

この土器の重要性については次のようなことがあげられます。

■出土量の多さ

磨消縄文土器とは、縄文土器の種類のひとつで、土器の表面への模様のつけ方からそう呼ばれているのですが、五明田遺跡から出土した磨消縄文土器は当時、瀬戸内地方で作られていたものと似通っていることがわかっています。中国山地のこの地で、これほど多く、この土器が出土することは大変珍しく、当時の地方と瀬戸内地方との緊密な交流があったことが予想されています。

■器種の豊富さ

出土した土器の破片は、つなぎ合わされ、使われた当時のように復元されています。波形をした縁を持つもの、広

く開いた浅鉢などその形は創造性に富み、現代の私たちを驚かせます。



波状口縁土器

■精密なつくり

□□の技術のない縄文時代ですから、これだけ整った形のものを作って焼くにはかなりの技術があったことが予想されます。また精密なJ字状の模様や朱が施された土器もあります。



磨消縄文の文様
縄などで縄文文様をつけた後、線をつけ区画し、外側の縄文を撫で消す

縄文土器もたくさん発見されていますが、多くは模様の無い無紋土器です。五明田遺跡から出土したこれらの土器は特別な場合に使用されたと考えられています。瀬戸内地方に起源を持つこれらの土器はどのように中国山地のこの地にもたらされたのでしょうか？
どんなものが盛られ、どんなお祭りがされたのか？
土器は飯南町教育委員会に保管されています。皆さんも直接これらの土器に触れて四千年前に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。



トレバーの★★★★★★

TALK TIME

★★★★★★トーク タイム



On Community ～近所について～

アメリカの小さい町には、近所付き合いがあると思います。多くの友達は近所付き合いに入ります…。多くというけれど、事実は私の友達が1人だけに入っています！

私は子どもの時、大都市に住んでいました。アメリカ、特にアメリカの大都市は「シビックアパシー」と言う問題に悩まされています。ロバート・D・バットナム教授が書いた本「Bowling Alone（独りぼっちボウリング）」は、その問題をよく論じています。「シビックアパシー」とは一般的に、近所や他の人間との付き合いが減りつつある、ということの意味します。書名「独りぼっちボウリング」の意味は、アメリカでボウリングは大人気なチームスポーツだけど、最近、ほとんどの人々は1人でボウリングをする、ということを表現しています。独走ですね。でもそれは、アメリカ人の人付き合いの減少における、ほんの1つの例ですよ。

テレビやインターネットなどの台頭以来、隣り近所と一緒に付き合わないようになり始めました。これは、日本の大都市にもある問題かもしれませんが、日本の田舎ではシビックアパシーは見えにくいと思います。田舎に引っ越してから、隣りはよく一緒に話し合ったり、近所付き合いのイベントでは多くの人は出席したり、皆さんは優しい挨拶に時間をかけることに注目しました。都会人は田舎のいい例を覚えれば、たぶん生活を良くできるのです。



ワンポイント英会話

Everyone takes the time to say a friendly hello.

エブリワン テイクス ザ タイム トゥ セイ ア フレンドリー ハロー

皆さんは優しい挨拶に時間をかけます。



短歌

頓原公民館短歌教室

三月詠草

- * 「パソコン」や「インターネット」と変わる世か喜寿過ぎし吾にケイタイ無用 藤原 秀子
- * 病む友を気遣う夫のつばやきに常には見せぬ優しさを知る 戸田登喜栄
- * 近況を告げつつ対う父の暮合わす両手に粉雪の舞う 渡辺ヤエコ
- * 夕暮の山峡の町を終バスは明かりをこぼし一人乗せ行く 景山 敬子
- * 巣立ちゆく七人の子らを送る会胸に飾りしリボンの愛し 景山サチ子
- * 風邪に臥す弱気の我に熱き茶を無言で呉れる夫の気遣い 三上 朋子
- * 冬野菜寒を凌いで円なる旨みを添えて食卓にあり 原 美千枝

俳句

琴峯華俳句会

雛祭りその他会員作品抄

- * 一杯のコップの水に春の色 石田ジツカ
- * 雛飾る日本文化のあり梁し (故) 大下つゆ子
- * 雪解けて畑踏む土の柔らかし 奥野 王青
- * 雛の腫の届くところにお飯事 垣内 良野
- * ウインドに和菓子の子の老舗雛飾る 片山 素文
- * デーサービスの部屋に飾りし雛五段 庄司あさの
- * 飾雛眠り続ける倉の中 張戸ユキ女
- * 箴引で雛壇並ぶ園児たち 林 勝子
- * 姉と来て手作り雛と土産とす 政本 進美
- * 異国より曾孫誕生雛の日 源 雨光
- * 雛飾り客待ら顔の老舗かな 森 征子
- * 春を待つ思ひの菫る落の味噌 門所 詠子
- * 残雪や閉校の日の近づきぬ 山崎智恵美
- * 唇の紅も褪せたる女官雛 垣内 峯雅



いのち ^{いろど} 彩る ^{くらし} 生活

①

保健・医療・福祉のページ



飯南病院(左) 飯南町保健福祉センター(右)



来島診療所



来島保健センター

本町の将来像の一つに「健やかで安心して暮らせるまちづくり」があります。それを実現するには、保健・医療・福祉が一体となる必要性があります。病気を予防し健康を守る“保健”、病気の治療を行なう“医療”、病

生活を支える“福祉”これらが連携していくことで、より効果的に皆さんの生活をサポートすることができると考えます。

来月号からはこのページを通して、保健・医療・福祉の様々な角度から、皆さんの健康を守るお手伝いをしていきたいと思えます。よろしくお願ひします。

今月号から「いのち彩る生活」と題して、保健・医療・福祉に関する情報を皆さんへお知らせします。

新スタッフ紹介

四月から、新しく飯南病院内科へ赴任しました永澤と申します。これまで隠岐の島で診療にあたっていました。このたび海を渡って飯南町へやってきました。これから、この町で必要とされている医療の提供を、心がけていきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。



飯南病院
医師 永澤 篤司

このたび四月から飯南病院に赴任しました日高美佐恵と申します。今回都合により、最初の二ヵ月半は掛合診療所で勤務することになりました。そのため、飯南病院での診療は六月下旬からになります。皆さんの意見を伺いながら頑張っていきたいと思ひますので、よろしくお願ひします。



飯南病院
医師 日高 美佐恵

飯南町の運営する医療保健機関

飯南病院 ☎72-0221

診療科目
内科・外科・整形外科・小児科・産婦人科・眼科・歯科口腔外科・リハビリテーション科

来島診療所 ☎76-2309

診療科目●内科

谷出張診療所 ☎76-2101

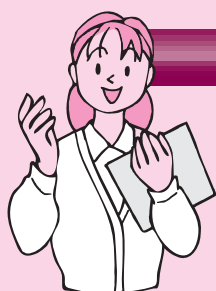
診療科目●内科

来島保健センター ☎76-3800

志々出張診療所 ☎73-0644

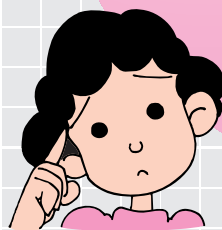
診療科目●内科・整形外科

飯南町保健福祉センター ☎72-1770



お知らせ

INFORMATION



国民年金

納め忘れは ありませんか？

公的年金は、若い世代が保険料を負担し、高齢者世代を支える、世代間扶養を基本に考えられた制度です。あなたが納められる保険料は、高齢者の生活を支えていると同時に、あなた自身の将来の年金受給に必要な月数となって記録されます。

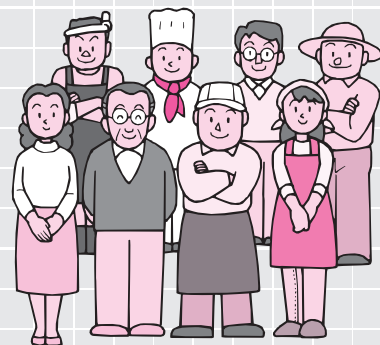
保険料納付は国民の義務です。

国民年金は、国内に住む二十歳から六十歳までの全ての方が加入しなければならない制度で、保険料納付は国民の義務とされています。

納め忘れが続くと、将来高齢になったときに受ける老齢年金が減額されたり、場合によっては、思わぬ事故等による障害年金や生計を維持している人が亡くなった時、遺族年金の受給に必要な年数が満たされないことも生じてきますので、ご注意ください。

島根社会保険事務局出雲事務所 ☎〇八五三一・二四一〇〇四二

人口動態・職業・産業調査にご協力を



この調査は、皆さんからの出生・死亡・死産・婚姻及び離婚の各届書をもとに、出生を届けるものです。

国勢調査が行われる今年は、届書に職業の記入もお願いし、死亡届には併せて産業の記入もお願いします。

市町村役場に届書を提出される方にはご面倒をおかけしますが、よろしく願います。

調査期間

平成十七年四月一日～
平成十八年三月三十一日

調査対象者

出生届・死亡届・死産届・婚姻及び離婚届の届出をされる方

とんばら維持出張所からのお知らせ

平成17年度とんばら維持出張所管内の主な工事概要

国道54号では下記の場所で工事を行います。



三刀屋トンネルの改良に係る用地買収を促進し、一部工事着手を目指します。

清泉橋で橋梁の補修工事を行う予定です。

上出来山橋橋梁の補修工事を行います。

赤名トンネルで老朽化に伴う漏水及び補修工事を行います。

雲南市(加茂町、掛合町、飯南町(佐見、下赤名)で歩道整備工事を行います。

その他国道54号の利用者が安全に通行できるように路面補修、除雪などの道路維持のための工事を行います。

お問い合わせ

〒690-3202 島根県飯石郡飯南町頓原1618-4
国土交通省頓原維持出張所 TEL(0854)72-0004 FAX(0854)72-0726
HPアドレス: <http://www.matsukoku-mlit.go.jp/tonbara-iji>

島根県東部福祉事務所からの お知らせ

島根県の組織の見直しにより、新しい東部福祉事務所が雲南市にできました。東部福祉事務所では、次の担当区域に関する生活保護、母子相談、要保護児童の通告の受理等の業務を行っています。

従来の福祉事務所が再編されました

東部福祉事務所
(松江市)

雲南福祉事務所
(雲南市)

簸川福祉事務所
(出雲市)

東部福祉事務所 (雲南市)

担当区域
東出雲町・奥出雲町・
飯南町・斐川町

担当業務
○生活保護
○母子相談
○要保護児童の通告受理
○助産施設・母子生活支援
施設への入所決定

連絡先

雲南市木次町里方531-1 〒699-1396
TEL.0854-42-9640 FAX.0854-42-9626

遊具作りにチャレンジ!

4月10日(日)



とんぼ探検隊

「とんぼ探検隊」とは、頼原公民館が頼原小学校の児童を対象に行っている活動で、子ども達の自主性を尊重し、野外を中心とした様々な体験活動を、毎月一回行っています。

現在は三十六人が隊員として登録しており、この日は十五人が参加して遊具作りを行いました。

それぞれが作業を分担してノコギリで木を切るなど、楽しく作業をする中で、協調性が芽生えている様子でした。



三月十六日、加田の湯に来島保育所園児と下島老人クラブの会員が集い、ひなまつりの歌を歌ったり、短冊に願い事を書いて、流しびなを楽しみました。

園児と高齢者は、短冊にそれぞれの願いを書き、高齢者が用意された「さんだらわ(米俵の血の部分)」に花と折り紙のおひなさまを添えて、神戸川へ流しました。

園児の願いを聞いて短冊に書く高齢者の姿は、とても微笑ましい光景でした。

短冊に願いを込めて



加田の湯で流しびな 3月16日(水)

やすらかに 3月届出分

お名前	年齢	親族	地区
藤原 勇	(81)	時子 (志津見)	
錦織 守蔵	(76)	幸吉 (長谷)	
大下ツユコ	(86)	横路三 (上来島)	
馬場トミコ	(87)	久 (上赤色)	
原 茂治	(68)	弘憲 (佐見)	
竹村 静枝	(82)	文夫 (野萱)	
永田 芳久	(71)	清江 (上来島)	
景山 勉	(80)	昇 (頼原)	
藤原 閑宣	(80)	秀明 (頼原)	

あこやかに 3月届出分

新生児	保護者	地区
石田 壮太	智英 (下赤色)	
多久 未紘	悟史 (頼原)	
山下 七聖	雅広 (下赤色)	

川柳 とんぼら川柳会

三月詠草

- * 真っ白な紙を時には汚したい 静子
- * 生え抜きの田舎暮らしは生き上手 敬子
- * 情報はいから耳へ駆け抜ける 雨石
- * さざ波の音に眠った午後の耳 安次
- * 生か死かあの雄叫びが耳底に 秀夫
- * 程の良い群れに囲まれ汚す紙 さつえ
- * 欲の皮つつぱりながら生きて行く 寿美江
- * 痛いところ突かれた耳の自閉症 かずこ

今月の表紙

四月三日、頼原町民野球場において「飯南町野球教室」が開催され、町内の中学校二校の野球部とスポーツ少年団三チームが参加しました。

この野球教室は、飯南町野球教室実行委員会の主催で開催されたもので、姉妹都市の伊丹市にあるNPO法人「伊丹アスリートクラブ」の方にお越しいただきました。

同クラブにはスポーツトレーナーや元プロ野球選手が在籍されており、小中学生に的確なアドバイスをしつつ、野球の楽しさを伝えられていました。

時折小雨が降る天気の中でしたが、小中学生は一生懸命に講師の指導を受け、野球を楽しむながらバットを握っていました。